

# タダノレポート

2024年度(中間期) 2024年1月1日～2024年6月30日

## 株主の皆様へ

代表取締役社長 兼 CEO  
氏家 俊明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、タダノグループは、「Reaching new heights～新たなステージへ～」をスローガンに掲げ、「脱炭素化を加速」「新たな領域への挑戦」「強みを活かしたものづくり改革」「変革を支える足場固め」を4つの基本戦略とする、新たな3カ年の中期経営計画(24-26)を策定しました。2024年度は、その初年度となります。

「脱炭素化を加速」では、2023年に世界初のフル電動ラフテレーンクレーン「EVOLT eGR-250N」の販売を開始し、走行・クレーン作業双方でのCO<sub>2</sub>排出ゼロを実現しました。環境負荷の無い製品を「Tadano Green Solutions」と位置づけ、ラインナップの拡充と拡販を進め、環境対応をリードしていきます。

「新たな領域への挑戦」として、これまで日本を中心に販売してきた高所作業車の海外展開を加速します。本年2月に自走式のクローラ高所作業車で日本国内シェアトップの長野工業(現:タダノユーティリティ)をグループ化したことにより、製品ラインナップの拡充、開発・生産面でのシナジー発揮により、新たな製品づくりを進めます。

「強みを活かしたものづくり改革」では、世界に分散している工場を

それぞれが得意なものへと集約することで品質の向上を図り、タダノブランドの価値向上を図ります。

「変革を支える足場固め」では当社製品を「安心して使える」「長く使える」をキーワードにサービス力強化や、働き手の不足と技術継承問題への備えとして製造工程の自動化・省人化、IT化促進により、更なる安全・品質の向上に取り組みます。

また、上記基本戦略に加え、持続的な成長に向けた取り組みとして、サステナビリティ課題への対応と、資本コストや株価を意識した経営を進めます。その上で、事業で得たキャッシュを成長に向けた前向き投資と安定経営に配分するとともに、継続的に株主様へ還元していきます。

私たちタダノグループは、業界のリーディングカンパニーとして、お客様の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供し、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化することで、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月

## ▶ 営業の経過及び成果

日本向け売上高は、建設用クレーンが減少したものの、車両搭載型クレーン・高所作業車が増加し、507億6千7百万円(前年同期比103.4%)となりました。海外向け売上高は、北米・オセアニアを中心に増加し、906億1千4百万円(前年同期比107.6%)となりました。この結果、総売上高は1,413億8千1百万円(前年同期比

106.1%)、海外売上高比率は64.1%となりました。

売価改善の効果や為替等の影響により、営業利益は122億8千3百万円(前年同期比139.6%)、経常利益は109億4千2百万円(前年同期比139.9%)、親会社株主に帰属する中間純利益は、51億8千5百万円(前年同期比159.5%)となりました。

### 売上高



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益



※2022年度は決算期変更の経過期間であるため、当社及び3月決算であった連結対象子会社は9か月間、12月決算の連結対象子会社は12か月間を連結対象期間としております。

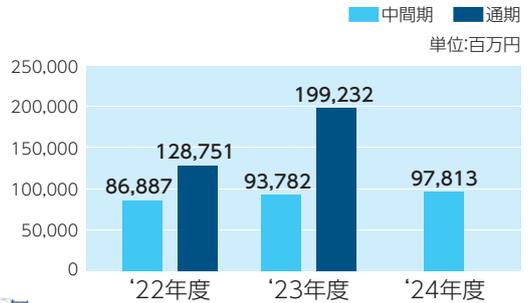


# タダノグループの連結業績の概況

## ▶ タダノグループの主要品目別売上高の推移

### 建設用クレーン

日本向け売上高は、需要が減少し、231億8千6百万円(前年同期比93.7%)となりました。海外向け売上高は、需要が増加する中、746億2千7百万円(前年同期比108.1%)となりました。この結果、建設用クレーンの売上高は978億1千3百万円(前年同期比104.3%)となりました。



オールテレーンクレーン



ラフテレーンクレーン



トラッククレーン



伸縮ブーム式クローラクレーン



ラチスブーム式クローラクレーン

### 車両搭載型クレーン

日本向け売上高は、トラック登録台数が減少したものの、83億1千4百万円(前年同期比103.3%)となりました。海外向け売上高は、10億7千4百万円(前年同期比105.6%)となりました。この結果、車両搭載型クレーンの売上高は93億8千9百万円(前年同期比103.6%)となりました。



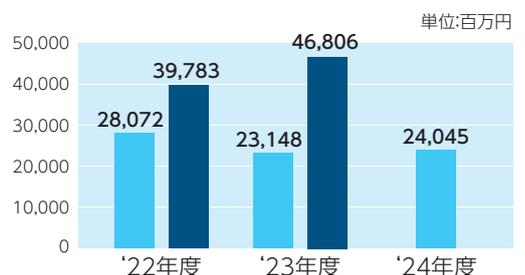
### 高所作業車

トラックシャシ供給制約により日本の需要が減少する中、長野工業(現:タダノユーティリティ)の買収効果もあり、売上高は101億3千3百万円(前年同期比139.3%)となりました。



### その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、240億4千5百万円(前年同期比103.9%)となりました。





# トピックス、ESG・SDGsへの取り組み

## ▶ 長野工業にて「タダノグループDAY1セレモニー」開催

当社は2024年2月1日に、長野工業（現：タダノユーティリティ）の全株式を取得し、子会社化を完了しました。タダノグループに加わる最初の日を祝して、長野工業本社にて「タダノグループDAY1セレモニー」を開催しました。

セレモニーにはタダノから氏家俊明社長、八代倫明常務、そして2月1日付で新社長となった木曾卓新社長はじめ出向者、関係部長ら15名が出席しました。長野工業からは全社員に当たる180名が本社会館に集合し、セレモニーに臨みました。

長野工業は高所作業車の製造会社であり、「自走式のクローラ高所作業車」においては日本国内のトップメーカーです。タダノグループでは「トラック架装式の高所作業車」を製造しており、同社が製造する高所作業車は当社がお客様に提供できていない製品カテゴリに属します。

世界的に見ても「自走式高所作業車」は需要が高いマーケットであり、同社とタダノグループの開発・製造技術を融合させることで高所作業車事業をさらに成長させることができると考えています。



## ▶ 第6回 建設・測量生産性向上展 (CSPI-EXPO 2024) 出展

2024年5月、幕張メッセにて開催された、次世代を担う最先端技術が一堂に集結する「第6回 建設・測量生産性向上展」に出展しました。経済産業省・国土交通省・環境省・デジタル庁の後援と建設・測量関係18団体の協力のもと、生産性向上に向けた最先端の技術が紹介される国内最大級の展示会です。

当社は地球環境保全への未来につながる新製品や新たに加わった製品群の紹介、デモンストレーション、試乗などを通して多数の来場者に好評をいただきました。



## ▶ 四国初! スマートゴミ箱「SmaGO」を高松市・屋島山上に寄贈・設置

当社は、屋島山上環境協会様ならびに高松市様の協力をいただき、屋島の遊歩道と駐車場の計2か所にフォステック社のスマートゴミ箱「SmaGO」を寄贈・設置させていただきました。

SmaGO (スマゴ) はアメリカ発の次世代型ゴミ箱で、太陽光発電機能と圧縮 (プレス) 機能を搭載しています。ゴミが溜まるとセンサーが察知し、自動的に圧縮することで通常の6倍の量を収容することが可能です。またネットワークを通じてスマホやパソコンにゴミ箱の状態を通知しタイムリーに回収することができます。

屋島の寄贈・設置を皮切りに、今後も香川県内の観光地や繁華街などにごみ箱を展開することで、きれいで住みやすい街づくり (=スマートシティ) の実現に貢献できればと考えております。



設置したスマートゴミ箱「SmaGO」



# 新製品紹介

## 世界初となる25t吊りフル電動ラフテレーンクレーン EVOLT eGR-250N

### ■特徴

実用化して世界初となる、バッテリーを動力源としたクレーン作業、走行の全ての操作を可能とするフル電動ラフテレーンクレーンです。

これまで走行時、クレーン作業時に発生していたCO<sub>2</sub>排出量をゼロにします。

※ディーゼルエンジン搭載のGR-250Nの1台当たりの年間CO<sub>2</sub>排出量約27t

### ■従来機と変わらない基本性能

従来のディーゼルエンジンを搭載したモデルと同等の吊上げ性能、走行性能を有し、従来機からのオペレータの方に違和感なく操作、運転をしていただけます。満充電状態で平均的な1日のクレーン作業が可能です。

最大吊上げ性能25t、最大作業半径34m、最大地上揚程44.2m、最高速度49km/h

### ■走行、クレーン作業騒音の改善

走行及びクレーン作業時の騒音も大きく改善しました。環境面に加え、騒音にシビアな現場での使用に対して新たな付加価値を提供します。

### ■2023年(第66回)「十大新製品賞 本賞」を受賞

「EVOLT eGR-250N」は日刊工業新聞社がものづくりの発展や日本の国際競争力強化に役立つ新製品を表彰する同制度において、本賞を受賞しました。

同賞は1958年から続く伝統と権威のある賞で、建設機械分野での受賞は初となります。



# 会社概要

## 概要

商号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資本金	13,021,568,461円 (発行済株式の総数 129,500,355株)
設立	1948年8月24日
従業員数	単独1,596名 連結4,686名(2023年12月31日現在)
事業内容	建設用クレーン、 車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売

本社	香川県高松市新田町甲34番地
東京オフィス	東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1 KANDA SQUARE 18階
生産拠点	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、香西工場(高松市)、 多度津工場(多度津町)、千葉工場(千葉市) ほか国内3拠点、海外4拠点
研究所・試験場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支店・営業所	10支店・23営業所
海外事務所	北京事務所、モスクワ事務所
グループ会社	子会社35社・関連会社1社

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
公告掲載方法	電子公告 ( <a href="https://www.tadano.co.jp/">https://www.tadano.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株式事務のお問い合わせ先	【証券会社で口座を開設されている場合】 お取引の証券会社にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されていない場合】 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)



## 統合報告書発行のお知らせ



統合報告書2024を発行しました。当社の経営状況や持続的成長に向けた取り組みについて、ご紹介しています。こちらのウェブサイトからご覧ください。

▶▶ [www.tadano.co.jp/ir/integrated\\_report/index.html](http://www.tadano.co.jp/ir/integrated_report/index.html)



## タダノ ウェブサイト

決算やESGに関する情報を開示しています。

▶▶ [www.tadano.co.jp/index.html](http://www.tadano.co.jp/index.html)

